



加藤 元の



と暮らして
みませんか

28

今回は猫のお話です。世界的に大都会では、犬よりも猫が多く飼われています。それは、猫は犬よりはるかに人とともに暮らしやすい動物だからです。というのも、犬のように毎日散歩に連れ出す必要がありませんし、ほえる声が近所に迷惑をかけるということもありません。犬より大きい猫はあまりいないでしょう。猫は、限られた広さの集合住宅でも、室内だけで十分生活できるのです。また、猫には狂犬病の予防接種（本当は犬と同様、必要ですが）や登録のわずらわしさがありませんから、犬に比べ手間がかかりません。

猫との生活

家族全員の愛で育てる

猫は、言ってみれば「主体性のある自由人」であり、一般的に犬のように飼い主にリーダーシップが求められることがありませんし、人に頼りすぎることもしません。トイレについても猫は犬よりもさらに潔癖な動物で、排便・排尿のしつけも楽といえます。猫を飼うことになったら、次のことは必ず守ってください。

健康で人間や人の手を怖がらない猫を選ぶ。

よいこと、だめなことを子猫のときからハッキリさせる（食卓の上にあがらせないなど）。

食事は良質のキャットフード（主にドライ）を与える。

三カ月齢で雄も雌も避妊手術を受ける。

予防できる病気は予防に努める。定期的な健康診断を受ける。

猫でも犬でも、飼うときには、家族が一人増えるのだと考えてください。子供が猫が好きだから飼う、でもお母さんとお父さんは大嫌い というのでは困ります。飼われる猫は家族全員に愛されてこそ、心身ともに健康に育つのです。途中でイヤになったからといって捨てたりするのは、人に対しても同じことをしてしまう人です。飼い主になるといことは、その動物の一生を預かるということ、動物を飼う人々の責任です。

（ダクタリ動物病院広尾病院院長、日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ会長）

《産経新聞2004年10月17日掲載》